

マスターオブ

Web開発のエキスパートになる!

第9回

ASP.NETを何に使う? - Part1 - ~アマゾンWebサービス編

葛西 秋雄 | 有限会社フレンドリーソフト
KASAI, Akio | <http://www.friendllysw.com/>

はじめに

第1回~第8回までは、ASP.NETのHow-To (使い方) を中心に連載してきた

Level

1 2 3 4 5

Technology Tools

- Visual Basic
- Visual C#
- Visual C++
- SQL Server
- Oracle
- Access
- ASP.NET
- Other:
↓
Amazon Webサービス

Samples

この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、<http://www.shoelisha.com/mag/windev/> からダウンロード可能です。

ましたが、第9回以降は、What (何に使う) をテーマに4回シリーズで連載してゆきます。

今回のPart1では、アマゾンの書籍を検索するWebツールを紹介します。アマゾンが提供しているWebサービスを利用すると、アマゾンのデータベースに格納されている50万件にもおよぶ膨大な書籍を検索することができます。検索結果は、ASP.NETのDataGrid、DataListコントロールに表示したり、RSS (Really Simple Syndication) で提供することが可能です。

AWSのクラスを作成

アマゾンのWebサービス (AWS) は、REST (REpresentational State Transfer) とSOAP (Simple Object Access Protocol) のいずれかを利用することができますが、ここではSOAPを利用することにします。SOAP経由でAWSを利用するには、WSDL

(Web Services Description Language) からプロキシクラスを生成してコンパイルします (VS.NET 2003を使用するときはプロキシクラスが自動生成されます)。

今回は、書籍をジャンル、キーワード、タイトル、著者名、ISBNなどで検索する専用のクラス (AmazonJP) を作成して、WebページからはAmazonJPクラスがサポートしている各種メソッドを利用して書籍を検索することにします。

AWSのプロキシクラスを作成する

VS.NET 2003でアマゾンのWebサービスを利用する手順を説明します。

①ソリューションエクスプローラからWeb参照の追加

ソリューションエクスプローラのプロジェクトを右クリックして [Web参照の追加] を選択します (図1)。

図1：プロジェクトの右クリックから [Web参照の追加] を選択

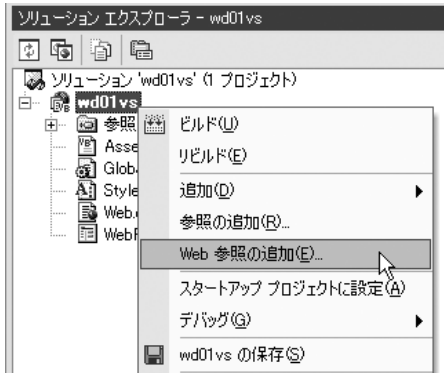


図2：WSDLのURLを入力する

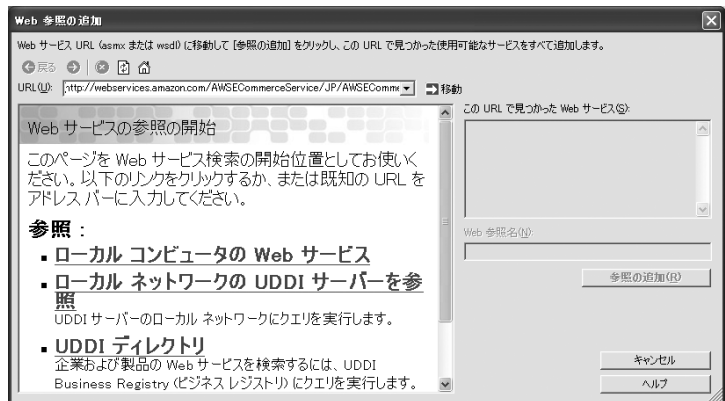


図3：AWSECommerceServiceが表示されたら [参照の追加] ボタンをクリック



図4：ソリューションエクスプローラにアマゾンのWebサービスが表示された



② WSDLのURL入力

「Web参照の追加」が表示されたら、「URL」に次のURLを入力して (図2)、[移動] ボタンをクリックします。

<http://webservices.amazon.com/AWSECommerceService/JP/AWSECommerceService.wsdl>

③ Webサービスを追加

「Web参照の追加」にWebサービス (AWSECommerceService) が表示されたら、[参照の追加] ボタンをクリックします (図3)。これで、ソリューションエクスプローラにアマゾンのWebサービスが表示されます (図4)。Webサービスのプロキシクラスは自動的に生成されますので、wsdl.exeを起動して手動で作成する必要はありません。

リスト1：アマゾンWebサービスの利用例

```

' ISBNで書籍を検索する例
Dim itemLookupRequest _
    As New com.amazon.webservices1.ItemLookupRequest
With itemLookupRequest
    .ItemId = New String() {isbn}
    .ResponseGroup = _
        New String() {"Small", "Medium", "Large", "Images", _
            "ItemAttributes", "OfferFull", "SalesRank", "Reviews"}
End With

Dim itemLookup As New
com.amazon.webservices1.ItemLookup
With itemLookup
    .SubscriptionId = SubscriptionId
    .Request = _
        New com.amazon.webservices1.ItemLookupRequest() _
            (itemLookupRequest)
End With
    
```

Webサービスを利用するには、たとえばリスト1のように記述します。